

令和7年4月15日

国土交通省関東地方整備局

鹿島港湾・空港整備事務所

令和7年度 鹿島港湾・空港整備事務所の事業概要について

鹿島港湾・空港整備事務所では、鹿島港及び茨城港常陸那珂港区を整備するため、令和7年度においては、別添の事業を実施します。

1. 鹿島港については、近年の貨物船の大型化等に対応するとともに大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナルを整備しており、令和7年度は、港内の静穏度を向上させるため、防波堤（南）の本体工及び防波堤（中央）の被覆工、消波工を実施する予定です。
2. 茨城港常陸那珂港区については、北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まった海上輸送需要の増大に対応するため、国際物流ターミナル等を整備しており、令和7年度は、中央ふ頭地区岸壁（水深 12m）の本体工、裏込・裏埋工及び中央ふ頭地区岸壁（水深 14m）の裏込・裏埋工等を実施する予定です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、茨城県政記者クラブ、物流専門紙

<問い合わせ先>

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所

電話：0299-84-7712 メールアドレス：info-k83ab@mlit.go.jp

副所長 三浦（みうら）

第一工務課長 齋藤（さいとう）

直轄	茨城県	鹿島港外港地区 国際物流ターミナル整備事業	R7:1,064百万円
			完成予定:R10年度

■事業の概要

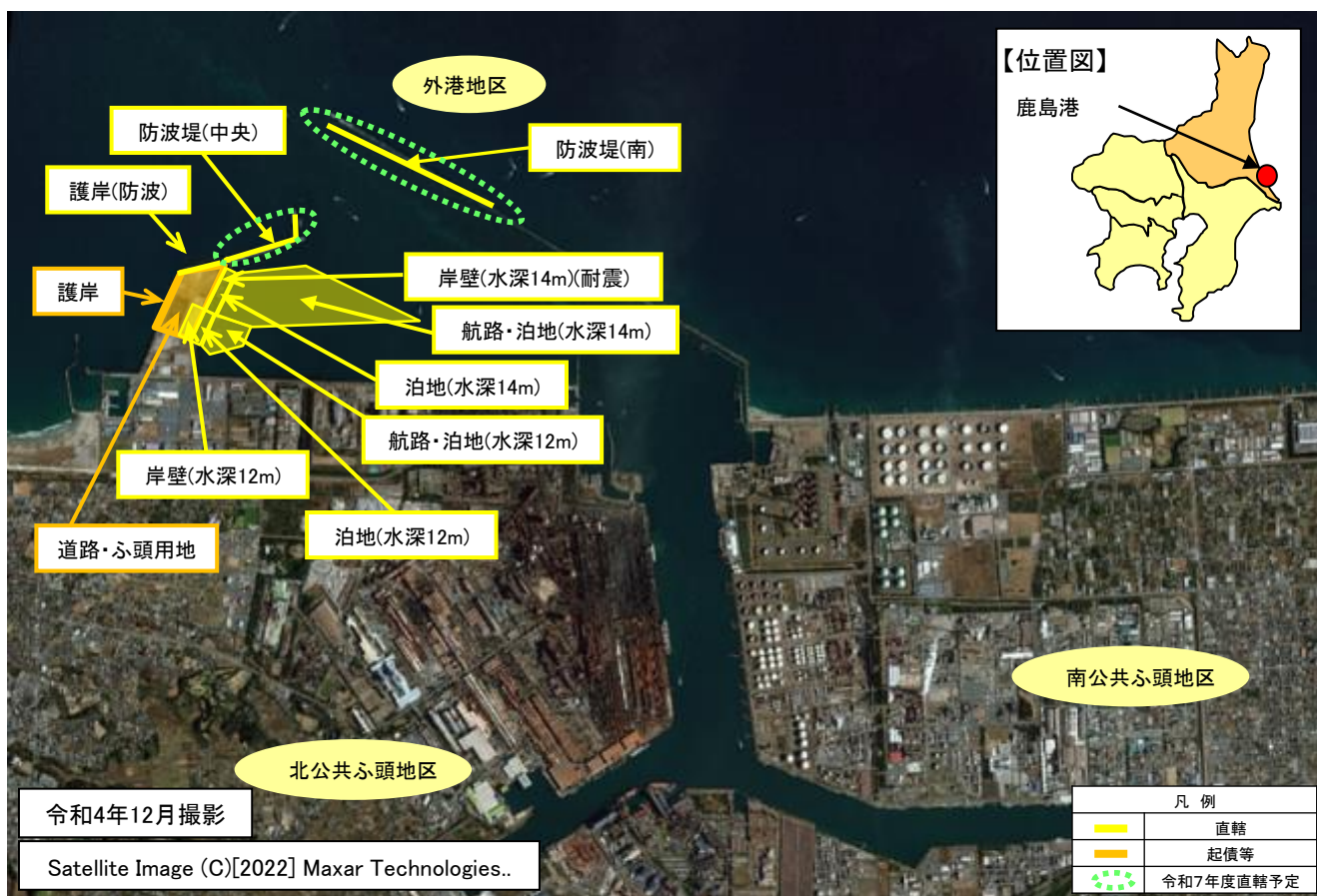
鹿島港では、港内の静穏度を向上させるため、防波堤の整備を進めている。

■令和7年度の事業内容

- 外港地区防波堤(南)の本体工を実施する予定です。
- 外港地区防波堤(中央)の被覆工、消波工を実施する予定です。

■事業の効果

- 防波堤を整備することにより、港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。
- 岸壁(水深14m)等を整備することにより、大型船での大量輸送が可能となり、海上輸送コストの削減等が可能となります。
- 岸壁(水深14m)の耐震化により、大規模地震発生後も緊急物資等の輸送拠点として機能します。
- 岸壁(水深12m)を整備することにより、洋上風力発電設備の陸上での組み立て、効率的な作業船への積込・運搬などによるコストダウンが見込まれることから、洋上風力発電設備の設置が促進されます。



■事業の概要

茨城港常陸那珂港区では、建設機械や完成自動車等の貨物需要増加が見込まれており、地域の基幹産業の競争力強化のため、国際物流ターミナル等の整備を進めている。

■令和7年度の事業内容

- 常陸那珂港区中央ふ頭地区岸壁(水深12m)の本体工、裏込・裏埋工を実施する予定です。
- 常陸那珂港区中央ふ頭地区岸壁(水深14m)(耐震)の裏込・裏埋工を実施する予定です。
- 常陸那珂港区外港地区防波堤(東)の調査を実施する予定です。

■事業の効果

- 取り扱い貨物の増加と船舶の大型化に適切に対応することにより、北関東地域からの完成自動車の海上輸送コスト及び建設機械等の陸上輸送コストの削減等が可能となります。
- 耐震強化岸壁を整備することにより、被災時においても海上輸送が可能となり、社会・経済活動を維持することが可能となります。
- 防波堤を整備することにより、港内の静穏が保たれ、茨城港常陸那珂港区における岸壁での荷役作業効率が向上します。

